

彼女の妹といちゃラブ同棲生活1週間
～子作り花嫁修業「お兄さんいっぱいかわいがってくださいね」～

● 1日目

SE インターホンの音

SE 主人公が扉に近づく足音

SE 鍵を開けて扉を開ける音

立ち位置 正面

まゆ 「あ、お兄さん……その、今田から一週間、お世話になつます」

SE 主人公とヒロインの足音5秒ほど（床はフローリング）
立ち位置 左前

まゆ 「……」がお兄さんが暮らしてゐる家なんですね

SE 荷物をおろしながら

立ち位置 正面

まゆ 「よじしょ……ふつ、外が暑かつたので、クーラーの効いた室内が涼しいです」

まゆ 「やついえば、お兄さん。お姉ちゃんは……」

まゆ 「あ、お仕事なんですね。今日、行くからって事前に伝えてたのに。相変わらずせわしないんだから……」

まゆ 「じゃあ、もしかして今日はお兄さんと一緒に来なんですか……？」

立ち位置 正面 やや近く

まゆ 「なら、お世話になるお礼に私がお姉ちゃんの代わりに料理や家事をしてあげますね」

まゆ 「ふふ。私、最近、家で花嫁修業してるんで、きっとお姉ちゃんより上手にできますよ?」

まゆ 「だから……もしお姉ちゃんより上手くできたら、ほめてくださいね？ お兄さん」

ま
ま
「ほら、お兄さん。さっそく掃除するんで、お部屋を見せてもらひてもいいですか？」

ま
ま
「……ダメです。私はお姉ちゃんの妹として、お兄さんがしつかりしてたかチェックする必要があるんですから」

ま
ま
「……仕方ないです。じゃあ5分間だけ待ちます。お兄さんも男の人ですもんね。見られたくないものとかありますよね」

ま
ま
「やうじうのじやなくて仕事道具? ふふ。お兄さん。そういうのいつて何のことです?」

ま
ま
「私はただ、見られたくないもののつて言つただけですよ? お兄さんは何を想像してたんですかね? ふふ、ほら、早くしないと5分経っちゃいますよ?」

SE 扉を開ける音

SE 足音 2秒ほど

立ち位置 正面 やや遠く

ま
ま
「お邪魔しまーす……。おや、以外と片付いてますね」

ま
ま
「ねや、お兄さん、汗かいちゃつてますね。そんなに慌ててたんですねか?」

立ち位置 正面

ま
ま
「ほら、お兄さんはベッドに座つて休んでてください。お掃除しちゃいますから」

ま
ま
「」の格好ですか? 汚れちゃつてもいい服に着替えてきました

ま
ま
「……見えちゃいそう、ですか? ……お兄さんなり、べつに見てもいいですよ?」

立ち位置 やや右

「え、お兄さんも手伝ってくれるんですか？ やっぱりお兄さんは優しいですね。」

「じゃあ、私が届かない高い場所の掃除をお願いしてもいいですか？」

SE 掃除機をかける音 5秒ほど

立ち位置 正面

「ふう……どうですか？ お兄さん。綺麗になつたと感つんですけど」

「ほんとですか？ よかったです」

「……でも、結局、お兄さんが隠したものは見つけられませんでしたね」

「お兄さんがどんな趣味なのか知りたかったです」

「え、どうして、気になるのかって……？ ふふ。お兄さんも意地悪な」と聞きますね？」

立ち位置 正面 やや近く

※少しだけねっとりとした感じで。

「……じゃあ、お兄さん。改めて今日から一週間、よろしくお願ひしますね？」

「……いっぱい、可愛がってくださいね？」

SE 扉を開ける音（脱衣所の）

※扉越しに聞こえる感じで

SE シャワーの音

※浴室内にいるので声が反響している感じで

立ち位置 正面 やや遠く

まゆ

まゆ

まゆ

まゆ

まゆ

まゆ

「ん……。あつ……んん」

「はあ、はあ……ん。んあつ……」

「「んな」と……ほんとは黙田なの!」

「い、こま、同じ家にお兄さんがいるのに……んっ」「

「わ、わたし、お兄さんとお姉ちゃんがくらす家で、オナニーして、いつちやう……」

「はあ……んん。で、でも、あ、れもか、いじ……」

SE 洗室の扉を開ける音（可能ならゆっくり）
※扉越しに聞こえる感じは「」まで

「んっ……も、もっ、「んな」に乳首、固くなつちゃうてる」「

「はあ、ふう……ふあ、ああ」

「ボディソープ……ぬるぬるして、精液も「」の感じなのかな……」

「」声……もつと、堪えなきや。お、お兄さん!聞こえちゃう」「

「……んあ。お、お兄さん、ねいれあん……」

「……んっぐ。おあつ……ぐ、ぐる。あひやう」「

※指を噛みながら声を抑える感じで

「んんんっ……ああ。ふう、ふう」

「ふー、ん……ん」

「んん——ああ、うへ、イヒヒヤウ

まゆ
「お兄さん……お兄つんああ」

ん……んつあ、はあ、はあ……

まつ

卷之三

卷之三

「……………えつ。お、お兄さん？」

「……そ、その、いつか、ママに会いたい。」

——もしかして……私のこと見てました?」

まにかくして、勝手にかくして、まかくして

悪いんですけど

浴室の扉がガタつていう音

※声の反響「」まで

「……私はまだもう少しお風呂に浸かる予定ですけど、どうし

お兄さんも一緒に来ます？

「ふふ。私は気にしないのに……。お兄さんは真面目なんですねー

まゆ 「じゃあ、もう少しだけ待ってくださいね……今度は、覗いてやダメですよ?」

SE 扉を開ける音 (リビング)

立ち位置 右後ろ ちょっと遠く

「……お兄さん、まだ起きてたんですね」

SE 足音 (近づいてくる音) 2秒

立ち位置 右後ろ

「……はい。お姉ちゃんは、疲れてたんでしょうね。布団に入つたら、すぐに寝ちゃいました」

「お兄さんは、お仕事ですか……?」

「……もし暇だったら、少しだけお話しませんか? 私、まだちょっと眠れそうになくて」

「お隣、失礼しますね」

SE ソファに座る音

立ち位置 右前 近め

「……そういえば、お兄さん。夕食はどうでしたか? 感想を聞いてなかつたですよね」

「ほんとですか? よかつたです。……お兄さんの好きなものが分からなかつたので、お口に合つかどうか心配だったんですけど」

まゆ 「……明日は、お兄さんの好きなものを作つてあげますね? だから、お兄さんのこともっと教えてください」

立ち位置 右 耳元

※少し囁くように

ま
まゆ 「……（すんすん）、お兄さん、良い匂いします。私、好きです、この匂い……」

ま
まゆ 「シャンパーともボディーソープとも違う、不思議な香りです」

「…」

※囁き「こまで

立ち位置 右前 近め

ま
まゆ 「……やっぱ、お兄さんに見られちゃったんですね。私がお風呂に入ってるといろ」

「私の裸どうでしたか……？ 興奮しました？」

ま
まゆ 「あの時、お兄さん……勃起してましたよね？」

※座っている主人公の股間に手を当てている

ま
まゆ 「」の部分を膨らませながら……私のオナニーを覗いてました

「よね？」

ま
まゆ 「あの後、どうしたんです……？ もしかして、一人でシコシコしゃったんですか？」

ま
まゆ 「……ふふ。少し、大きくなつてしましましたよ、お兄さんのこ

「」

※囁くように

立ち位置 右 耳元

ま
まゆ 「私の裸を思い出しちゃったんですか……？」

ま
まゆ 「私の胸や、濡れちゃってたアソコを想像して、大きくなつたんですね？」

ま
まゆ 「……もし、お兄さんさえよければですけど、私が手伝ってあげましょうか？」

まゆ 「…………大丈夫ですよ。お姉ちゃんは寝てますから……ね？」

※囁き「」まで

立ち位置 右前 近く

まゆ 「でも……お兄さんの「」は苦しそうです。ほら、楽にしてほしくてビクビクしかやつてます」

まゆ 「…………いま、出してあげますからね？」

SE 主人公のズボン（スウェットとパンツ）を下す音

まゆ 「わ……」んなに大きくなっちゃうんですね」

まゆ 「鉄みたいに硬くて熱い……お兄さん、痛くないですか？」

まゆ 「……私の手の中ぞくぞく脈うつります」

まゆ 「つんつん……ふふ、ぴくぴくしてて、なんだか可愛いですね」

まゆ 「……お兄さん、もしかして、期待しちゃいました?」

まゆ 「そんな切なそうな顔しないでください……」

まゆ 「ほら、いいですよ。お兄さんの期待通り、気持ちよくしてあげますからね……」

まゆ 「ゆづくへり、ゆづくへり動かしていきますね」

立ち位置 右 耳元

※囁くように

まゆ 「」、「」やつて、しー」、「」

まゆ 「男の人って「」したから気持ちいいんですよね?」

※囁き「」まで

立ち位置 右 近く

「もうと、早くしてほしいですか？ 焦っちゃ駄田ですよ。」
「ほり、じっくり……」

「お兄さん、気持ちよせそうな顔します。ほり、もう先っぽからぬつむが溢れていますよ。」

「……でも、まだ駄田です」

「もとと、気持ちよくしてあげますから、ちゃんと我慢してくださいね？」

「服……脱がせちゃいますね？」

SE ソファがきしむ音

SE 主人公のTシャツを脱がす音

※主人公の胸に半身当てている感じ
立ち位置 正面やや右 顔の下から 近く

「お兄さんの胸板、広いです……」

「ほり、耳を当てる時、お兄さんがドキドキしてるの分かつ
ちやじます」

「……ね、お兄さん。知りますか？ 男性も乳首って感じる
らしいですよ。」

「ほり、弄つてあげますね……？」

「……私がオナニーする時は、いつやってくれりしたり、つ
ねつたりして……」

「くらくらくらー……どうですか？ お兄さん……気持ちいい
ですか？」

「ふふ……」

「 もうとこしてほしゃうな顔、してますよ。お兄さん」

「 じゃあ、今度は……れる」

「 一人じやできな」「、してあげますね……」

※乳首なめ

「 ちゅる、んつ……れる。……じゅるる」

「 ちゅう。んつ……れるお」

「 ……ねえ、お兄さん。乳首、固くなつてますよ。」

「 上も下も勃起しちゃいましたね?」

「 ……うう。」ぬるぬるで生殺しじや辛いですよ
ね?」

「 わ、こんなに我慢汁が溢れちゃつてます」

「 ほら、上も下も一緒に気持ちよくしてあげますから、ね?」

「 れろお……じゅるる。んん」

「 ……んつ。ちゅるる、ぶはつ」

「 はあ、はあ。お兄さん、いつでも出してくださいよ~」

「 私の手の中でもある一つの田この田してただせ~」

SE 射精音（外だし）

「 んつ。……じゅぱい出来ましたね。私の手、お兄さんの熱いの
でベタベタにされちゃいました」

「 ……んつ（ぐるり）。これがお兄さんの味なんですね」

まゆ

「お兄さんの匂い……やっぱり私、」の匂い好きです

まゆ

「……どうですか？お兄さんは気持ちよかったですか？」

まゆ

「なら、よかつたです」

立ち位置 右 耳元

※囁くように

「……お兄さんよかつたら、またしてあげてもいいです

よ~」

※囁きここまで

SE ソファから立ち上がる音

立ち位置 右前

「……ふふ。じゃあ、もう遅い時間ですし、私もそろそろ眠り

ますね

まゆ 「はい。おやすみなさい。お兄さん」

●2日目

SE 扉をノックする音

SE 扉を開ける音（主人公の部屋）

立ち位置 後ろ 少し遠く

まゆ 「失礼します。お兄さん。そろそろ休憩しませんか？」

SE ヒロイン足音2秒ほど

まゆ

「キッチンに紅茶があったので紅茶にしたんですけど、お兄さ

立ち位置 左後ろ

まゆ 「キッチャンに紅茶があったので紅茶にしたんですけど、お兄さん大丈夫でしたか？」

まゆ

「よかつた。じゃあ、一緒に飲みましょう」

SE 椅子を引いて座る音（二人分）

立ち位置 正面

※ダイニングに移動して、テーブルを挟んで向かい合つてゐる

「お兄さんが家に居てくれてよかったです」

「私一人だと、こっちの地理にも疎いですし、どうすればいいか分かりませんから」

「ええ、お姉ちゃんもお兄さんも、学生の私と違つて夏休みがないのは分かつてます」

「けど、せつかく遊びにきたんですから、少しくらい構つて欲しいんです」

「……ね、お兄さん。今から一緒にどこかへ遊びに行きませんか？」

「駄目ですか……。えつ、明々後日なら大丈夫？ ほんとですか？ 私、楽しみにしますからね？ 嘘吐いたらダメですよ？」

「じゃあ、指切りです」

「ん……お兄さんの指、男の人つて感じがしていいですね」

「ゆーびきーりげーんまーん。うーそつーいたーら、はーりせーんぼーん、の一ますつ。ゆーびきつた」

「ふふ。ちゃんと針千本用意しひりますからね？ ところで、針千本の針つて何の針なんですかね？ 待ち針とかでも大丈夫なんでしょうか？」

「ふう……ちょっとはしゃいだせいか、少し暑くなつてきちゃいました。ホットじゃなくて、アイスティーにすればよかつたかもです」

「…………お前が、もう、あいつらが、お前を

卷之二十一

■ ■ ■

SE 椅子から立ち上がる音

※立ち上がってテーブル越しにちよつと乗り出すようにして

「…………どうしました？」少し赤くなっていますよ？」

卷之三

「ブラ付けてなかつたですね」

「……………」

ませんが、これでもまだまだ成長途中なんですよ?」

SE 近づいてくる足音2秒くらい

立位置 左

ほん……ん、お兄さんの大きな手のひらにすこほり収ま

「どうですか……？」やわらかいですか？

「……………」

んあつ……ああん。お兄さん、上手です……」

「おあはあ…………、冗談じゅも、興奮（ハジカニ）している感じがする？」

やつぱり、お兄さんの大きい……

立ち位置 左耳元

まゆ 「ね、お兄さん。」のまま昨日の続き、しちやいましょうか?」

※ソファまで移動してヒロインが押し倒す（騎乗位）

SE 衣擦れ音（ズボン等を脱いで投げ捨てる音）

SE ソファがきしむ音

立ち位置 正面 顔の下

「今日は私の…………」と氣持ちはくしてあげます

「ほら、見えますか……私の……」、もう濡れちゃっています」

「お兄さんに胸を触られただけでこうなつちやつたんですね」

「うー」

「…………」にお兄さんのを入れたら、きっと氣持ちいいですよ

ね?」

「一緒に、気持ちよくなりましょう。お兄さん」

「んん……先っぽが擦れて……。お兄さんの硬いの分かりますよ」

「お兄さんも分かりますよね……？ 私の……」、すいべ濡れ

ちやつてます……」

SE 握入する音（次のセリフと同時）

「んっ……ふうっ。んんんっ」

「はあ、はあ……ほら、は、入っちゃいましたよ。お兄さん」

「私のお腹の中に、お兄さんが入つてる分かります」

「ほら、お兄さんの……おへその下まで届いて、今もビクツ、
ビクツって動いてます」

「ん……ふう。は、はい。だ、大丈夫ですよ。」

「……やっぱり、お兄さんは優しいですね」

「好きです。お兄さん」

「だから、私で……気持ちよくなつてください」

SE 抽送音 (ニイ)か(ヒ)

「んっ、はあつ……ああつ」

「ああつ。んっ。ふああつ」

「お、お兄さんは気持ちいいですか?」

「……昨日みたいに、」うちの方もしてあげますね?」

※騎乗位しながら乳首なめ

立ち位置 顔の下 近く

「んつ……れるお。じゅるる」

「もしかして、ちょっと期待してました? 舐める前からお兄さんの乳首、勃つちゃつてましたよ?」

「そんなによかったんですか? なら、期待通り、もつともつとしてあげますね」

「んちゅ……ちゅぱ、ちゅぱ。ちゅうう

「んれろ……んっ。ああつ。わ、私も気持ちよくなつて、きちゃいました」

「ん。お、お兄さんも、そろそろイッちゃいそうですか?」

まゆ

ま
ま
「 いじりますよ。い、いっぱい、お兄さんの、出していくださ
い」

ま
ま
「 んっ。あああ。わ、わたし、も、もひっ」

SE 抽送音 (ヒーヒーマド)

SE 射精音 (外だし) 次のセリフと同時

ま
ま
「 んん～～～～～～？」

ま
ま
「 ひ……んんっ……ん」

ま
ま
「 はあ、はあ……あ、熱いのが、出でます。お兄さんの濃くて
どろりとしたのかけられちゃつてます」

ま
ま
「 んっ……き、気持ちよかったです。お兄さん」

ま
ま
「 お兄さんも気持ちよかったですか？ よかったです」

SE 性器を抜く音

立ち位置 正面 顔の下 少し離れた位置

ま
ま
「 ……んっ。お兄さんの白いので服が汚れちゃいましたね…
…」

ま
ま
「 お兄さんが外に出すからですよ……？」

ま
ま
「 ……」れは後で、洗濯しないといけませんね

ま
ま
「 ね兄さんも、汗だくなっちゃいます」

ま
ま
「 ……じゃあ、今度こそ、一緒にお風呂に入っちゃいます？」

ま
ま
「 ふふ。お兄さんの背中、洗つてあげますね？」

ま
ま
「 代わりに、私の背中、お兄さんが洗つてくださいね？」

まゆ

「……お兄さん、いまHツチな顔、しましたよ。」

まゆ
「お兄さんが望むなら、お風呂でひづき……してもいいんですね？」

まゆ
「じゃあ、こまほしようか？ お兄さん」

※浴室 内なので声が反響するように

SE 浴室の扉を開く音

立ち位置 正面

まゆ
「ほら、お兄さん、入つていɨですよ。」

まゆ
「ふふ、お兄さん、もつ隠せない高い勃起しちゃつてますね」

まゆ
「そんなにひづきがしたかったんですか？」

まゆ
「いじですょ……ほら、ここに座つてください」

SE 桶でお湯をかける音

立ち位置 後ろ 近く

まゆ
「まづは背中を洗つてあげますね……」

SE ボディソープを出して泡立てる音

まゆ
「お兄さんの背中、広くて大きい……」

※後ろから抱き着く形になつている

まゆ
「んひ……どうしたんですか？ お兄さん？ ビクッてしましましたよ。」

立ち位置 右後ろ 耳元

※囁くように

まゆ
「ほんとはお兄さんも少し期待してたんじゃないですか？ お風呂に入つてから私の胸、何度も見てましたよね？」

まゆ
「ほら、分かりますか？さつきお兄さんが揉んだので、まだ

乳首がたつちやこてるんですね?」

「いやつは、お兄さんの背中に擦りつけたる……んつ。私は

も少し、気持ちよくなつてきちゃいます」

雪原一郎著

「お兄さんも、気持ちよくなりたいですよね？」先っぽが涎垂めています。

まゆ
——こちも、綺麗にしてあげますからね。

※後ろから手を伸ばして性器を擦っている

「ほら、」「へし、」「へし……ふふ。私の手の中でお兄さんの、
ビクビク跳ねますよ」

「ほーり、おとなしく綺麗綺麗、しましょうね~」

卷之三

1

「もう、お兄さんは仕方のない人ですね……。そんなだらしな

「お兄さんのために、こつちも胸で洗つてあげましきうね？」

以前便に移動口一ノハシ

立ち位置 正面 顔の下 近く

ね

「んん……」ら、暴れちゃ駄目ですよ、もう……」「まゆ

「 もう少しもしたのに、お兄さんのままんとに元氣ですね……」

「 ほら……お胸で」「へし」「へし」

SE
パイズリ音

「 お兄さん、すいべく気持ちよくなつた顔してます」

「 気持ちいいんですね……嬉しいです」

「 ほら、もうと気持ちよくなつてください……」

「 んの……先っぽから垂れてきた我慢汁で滑りがよくなつてきました」

「 ん……こいつやいやうなんですか?」

「 いじですよ? 私に……お兄さんの白くて濃いボディソープかけてください……」

「 ほら、んの……ぴゅうぴゅうて……」

「 出して……」

SE
パイズリ音

SE
射精音（外だし）

「 ……んつ……あひ……」

「 曲でます……つ。お兄さんの熱いボディソープが……」

「 ん……ふふ。ねつとつとして、すいこおい……」

「 このボディソープで身体洗っちゃつたら……私、我慢できなくなつちやいます」

「 お兄さんもまだ満足できていませんよね?」

「ほら……私の……」も、だらしなく涎垂らしちやつてます……

1

「お兄さんの太いお掃除棒で、中を“じーじー”し擦つて綺麗にして

もらえますか?」

※浴室内バツク

立ち位置 正面 後ろ向きで

捲八

「んあつ……入ってきて、ますつ……あああつ」

SE 抽送箱 (JISかん)

「あん……つ。お、奥、ずんずん突かれちゃつてますっ」

卷之三

「も、もつと優しく、ざ、ざしゃーして、くださいっ！」

「んう……ああつ、ざ、ざあつ……一、二んなの、す、すべ

「から……っ

卷之三

SE 拼道者 (1915-)

二〇

まゆ
「んつ」
くう
「んん」

SE 性器抜ける音

「…………わ、わたしだけ先にイかされちゃいました…………」

「『』、『めんなさい』お兄さん……。お兄さんは、まだ満足で
きてないですよね……？」

「 イッたばかりで敏感になつてゐる口、お兄さんでの、ぐちょぐちょになるまで突いてください」

SE 挿入音

「 ああっ……んつ……奥つ、き、気持ち、いいです」

SE 抽送音 (いりから)

「 んんっ、ああん……っ。うん……ああっ」

「 お、お兄さん……んんっ。で、出してくださいな、中で、大きくなつて、ますよっ。」

「 んつ……し、いじですよ。だ、出してください……お兄さん、お好きなど」「ひに……思ひこねり……」

「 ああっ……き、きほす……うつ、イヘイ」

SE 抽送音 (いりまわで)

SE 射精音 (中だし) 次のセリフと同時

「 んつ。ああっ……んああああっ」

「 んつ……くうつ……ふああ、んんっ」

SE ペたつて座り込む音

「 はあ、はあ……で、出でます……出されちゃつてします……」

「 ひとつ……す、すみません。お、お兄さんの……凄すがいで、」、腰が抜けちゃいました……」

「 ん……ありがとうござります。お兄さん」

「 そ、その……す」「へ氣持ちよかったです」

「 ……また、しましちゃうね」

SE 扇が開く音（玄関）

立ち位置 正面 後ろ向き ちょっと遠い

「ん。お姉ちゃん、いつでいらっしゃい」

SE 扇が閉まる音（玄関）

立ち位置 正面 ちょっと遠い

「……あ、お兄さん。おはよつゞれこます。今日はちょっとだけ遅起きですね」

「はい、お姉ちゃんはもう出かけちゃいました。……せつかく朝ごはんを用意したのに、食べずに行っちゃいました。お姉ちゃんも大変ですね」

「お兄さんの朝ごはんも用意してありますよ。お兄さんは食べますよね……？」

「……それとも、朝ごはんの前に……」「ちの方を食べちゃいますか？」

SE 椅子を引く音

立ち位置 正面 近く

「んつ……ほら、お兄さん、座つてください」

※椅子に座つて対面座位

「じやあ……お兄さんの脣、いただきます……」

「ん……ちゅる。ちゅう……ぱはつ」

「した、舌だしてくださー」

「んくい、じゅる……ぐむ。」

「れる……じゅるる。ぱはつ」

まゆ

「お兄さんの唾液……美味しいです」

まゆ

「私の唾液は……どうでしたか?」

「もつと……唾液の交換しましょ?」

「んむ……じゅむ、ちゅるん……んん」

「じゅるる……んむ。んん。ぶは?」

「はあ、はあ……お兄さんとキスするの、癖になっちゃいそうですね」

「……お兄さん、すぐ息遣いが荒くなっていますね。それに、「うちも……ほり、はち切れそうになつてますよ」

「いいですよ。ケダモノみたいに、私に欲望をぶつけてください」

SE 衣擦れ音

※ ヒロインの上の服を脱がせている

「ふう……」「うして、少し乱暴に求められるの、興奮しちゃいます」

立ち位置 正面 頭の上 近く

※ヒロインの胸に主人公の頭がある

「んあ……ふふ。お兄さん、私のおっぱい、好きですよね。」

「ええ、好きなだけ味わつていいんですからね」

「んん……あひ、はあ、んああ」

「……はあ、はあ。そっちも気になりますか? 昨日、お兄さんが入つてたところですよ?」

まゆ

「ん……ええ。触つていいですよ」

「……はあ、はあ。そっちも気になりますか? 昨日、お兄さ

まゆ
「ああっ……お兄さんの大きな指で触られるの、す」「くいいで
す」

「じ、自分でするのと全然、違います」

「んあ。お、お兄さん……お兄さん」「

「んああつ。お、おつぱいも、同時になんてー

「んん……」、「んな」とされたら、す、すぐにいかされちゃ
いやうです」

「は、はい。はい……お、お尻さんの手で、いかせてください」

「んあつ……んん。ああつ。だ、だめつ。い、いくつ」

音吹き潮

んつ んんあつ。 ん

一
は
あ
ん

すすかたです

「……………んた 大丈夫です たで お兄さんはまだ 気持ち よくなれませんもんね？」

「だから……ほら、私の二二で気持ちよくなつてください」

「んんあつ……お、お兄さんが、入ってきます」

立ち位置 正面 近く

SE 插入音

だから……ほら、私の「」で気持ちよくなつてください

「す、少しへりご激しくして、いいですか……ね…」

「私の中、お兄さんのおかげでもう、ぐしょぐしょになつちやつてますから」「ひ

「だから、お兄さんの好きに動いて、ください」

SE 抽送音 (ヒリカヒ)

「んっ。あああ。お、奥まで、お兄さんが届いてますひ

「そ、そ」、よ、弱いのに……お、お兄さんにはもう私の弱点、ばれちゃつてます……」

「ああっ。ふあっ……あん」

「んああっ。……ひ。ふう、んんっ」

「き、キスしてくださ……わ、私、またお兄さんとキスしたいです」

「ちゅる……れる……んん」

「じゅるる……んっ……れる……」

「あひ、ああひ……んん。ふはっ」

「わ、私……ま、また、お兄さんにイカされちゃうです」

「お、お兄さんも、イカそうなんですか？ い、いいです

よ?」

「い、一緒に、一緒にイカせしょ?」

「あひ、ああひ……んん」

「 い、いぐ、イグ、イグ」

SE 抽送音 (ニニニ)

SE 射精音 (中だし) 次のセリフと同時

「 う……あああああんあうつー~。」

「 うん。んあ……あ」

「 お、お腹の中……お尻さんのこひばこせれちやこした」

「 お腹……たぶたぶです」

立ち位置 左 耳元

※囁くように

「 ……満足できましたか? お尻さん」

「 私も……もうお腹いつぱいです」

「 ふふ。……「わわわわまでした。お尻さんへ」

●4日目

※乳首なめで起^レされる

SE 「ん~」やと布団の衣擦れ音

立ち位置 正面 頭の下 近い

「 んう……ちゅう……」

「 ……れらう……ちゅう、ちゅう~」

「 うんうんうんうん」

立ち位置 正面 近く

「 ……あ、お尻さん。起^レしましたか?」

まゆ

「 ええ、まだ起きる早い時間ですね」

「お姉ちゃんも、まだ寝てると思いました」

「…………どうして」「たぶんからって?」

「それはですね……お兄さんの「」と、夜這いしちゃおうかと思つて、せちやいました」

「ねえ、お兄さん。私と…………えつちな「」と、しませんか?」

「…………ふふ、お兄さんの「」は、もつ起きちやうしますよ。」

立ち位置 正面 頭の下

※主人公の股のあたりに顔がある感じで

「お兄さんと違つて早起きですね」

「ほう、見せてください」

SE 衣擦れ音（ズボンとパンツをおろす音）

「わあ、ものすごい、いきり立つますね。ほら、脈打つ
ちゃうりますよ。」

「それに……まだ、触れてもないのに、先っぽからお汁が出来
ちゃつてます」

「…………触つてほしいですか? 気持ちよくしてほしいです
か?」

「うーん……。ダメです。今日はせつかくですから、お兄さんの
オナニー、私に見せてください」

「私も……お兄さんがオナニーできるよう、手伝つてあげま
すね」

SE 衣擦れ音（Tシャツとアラをめくらあげる音）

まゆ

「……ほら、お兄さんの大好きなおっぱいですよ?」

まゆ

「ん……触っちゃ駄目ですかからね？ ほら、見るだけです」

「ほら、自分で頑張ってシロシロして下さいね？」

「ん……男の人つてそういうオナニーするんですね」

「お兄さん、気持ちよせそうな顔します」

「……ん。私も濡れできちゃいました」

SE 体勢を変える音

※体勢を主人公のモモのあたりに座るに変えている

立ち位置 正面 頭の下

「……ほら、見えますか？ お兄さん。私のところになつ
ちやつてます」

「！」に入れたいですか？ でも、ダメですかね？」

「ほら、手が止まつちゃつてますよ。もひとつ頑張ってシロシロ
してください」

「……そんなに入れたいんですか？ ……じゃあ、頑張って射
精できたら、今度はこっちを使つてもいいですよ？」

「わ……お兄さん、一気に擦る速度が上がりましたね？」

「頑張ってシロシロしてる顔、とてもかわいいです」

「お兄さんのその顔、好きです。もひとつよく見せてください
いっ」

「ん……私も、我慢できなくなつてしましました……」

「ほら、お兄さん、私のオナニー、見えてますか？」

まゆ

「 乳首も」んなにコリコリたっちやつてます」

「 ハハもお兄さんの」んなに奥まで指を飲み込んじやつてます
……とい」

「 でも……指だけじゃ切ないです。ほら、お兄さん、早く」

「 その太くて大きいので、私の」」を塞いで欲しい、です」

「 んひ、お、お兄さんひ。も、もうイッちゃいそつなんですか？ 我慢汁、す」」ことになつてます」

「 ……いいですよ。素敵です。お兄さん、ね？ ほら、ビ」にかけたいんですけど？」

「 お兄さんの好きなところにかけていいですよ？」

「 ……ふふ。」」ですか？」

「 ジやあ……はい。私の、もう濡れ濡れになつた」」に、お兄さんのいっぱいかけてください」

SE 射精音（外だし）

「 んひ……す」」。いっぱい出てる……」

「 お兄さんの精液の量、す」」から、少し中に入っちゃつたかも」

「 もしかしたら、これだけで妊娠しちゃうかもしれないです」

「 ……安全日かつて？ さあ、どうぞしよう」

「 もし危険日だったとしたら、」」で止めちゃいますか？」

まゆ

「……でもお兄さん。私の「」に入れたくて頑張つてたんです
よね?」

「…………れる、どうしますか?」

SE 挿入音

「んあつ。んつ……ふふ。自分に正直なお兄さん、好きです
よ」

「ほら、頑張った分、いっぱい味わつていいですかからね?」

SE 抽送音 (「」から)

※声を我慢している感じ

「ああっ。んんっ。は、激しつい、です」

「んつ、ゞ、別の部屋で、まだお姉ちゃんが寝てるのに……
んあつ」

「！」声、我慢できなつ……」

「んふつ……ん。い、いいですよ。お兄さんは、え、遠慮しな
くでわつ」

「んつく……ほ、ほら、オナニーの時みたいに、思いつきり突
いて、いいですかからつ」

「お、お兄さんの性欲、ぜ、全部つ、ぶつけて、ください」

「ああっ、ふあああ。んつ、んんっ」

「ふつ、ああ……ああつ。だ、だめつ」

「」、「」このなの、す、すぐ、イッちゃんあつ」

「だ、だめつ……お、お姉ちゃん、お、起きちゃ……」

「お、おひこ。また、わざとおなじ、かおつ、して
ます」

「よ」

「わ、わたしと、い、いつしょ、いつしょ……んあつ
「ああつ、んん。ああつ」

「ふ、イヘフ、イヘイヘフ……ふふふ
「へふへ」

SE 抽送音 (いきせう)

SE 射精音 (ちだい)

「ふん~~~ああああああああ~~」

「ふい、まあ、ふ……」

「ふ……ふ。はあ、はあ……

立ち位置 正面 近く

※主人公の身体に倒れ「む

「い、いっぺい、じぱじぱした……

「もう何度も出されちゃつた……

「もう何度も出されちゃつてますし、ほんとこ、お兄さん
の子を妊娠しちゃつてるかも、しれないですね?」

「…………ふ。わい、じつじゅう~」

「でも、よかったです。じつじ、お姉ちゃんはまだ寝てる
みたいです」

まゆ 「 私としては、見られて構わなかつたんですけど……ふふ。兄
談です」

まゆ 「 ……まだ、朝まではもう少しだけ時間があります
「 それまで、このまま、一緒に寝てもいいですか？」

まゆ 「 ……ありがとうございます。お兄さん」

まゆ 「 ……んっ。おやすみなさい。お兄さん」

● 5日目

SE 信号の音など

※外なので交通の音が入ってる感じで
立ち位置 左 顔の下 近い

まゆ 「 お兄さん。今日はありがとうございました。お兄さんとの
デート、楽しかったです」

まゆ 「 ねえ、お兄さん。家に帰る前に、最後にあそこに寄りません
か？」

まゆ 「 まだ私……家に帰りたくないです。お兄さんとえつちな」と
したいです」

まゆ 「 お兄さんも……したいですよね？」

SE 扉が閉まる音

SE 足音（フローリング）ちょっと駆け足気味で数歩

立ち位置 正面 後ろ向き 少し遠い

まゆ 「 私、ラブホに入ったの初めてです。中つて、」「つなつてるん
ですね」

SE 足音数歩

立ち位置 正面 近く

「ふふ……もう我慢できないんですか？　じやあいま、楽にしちゃいますからね？」

SE ベッドがきしむ音

立ち位置 正面 顔の下

※フリーザーン

「お兄さんの……おちんぽ、何度見ても大きいですね」

「今日は、私のお口で気持ちよくしてあげますね……？」

「舌先で……亀頭も、カリ首も、……れる」

「れろ……れろお。ん、ちゅっ」

「ちゅっ……ちゅっ」

「もひ、先っぽから我慢汁、溢れできちゃってますよ」

「これも、綺麗に舐めとつてあげますから……んっ」

「ちゅっ、ん……れる……」

「ちゅる……んん。れるお」

「ふふ。舐めても舐めても、どんどん溢れちゃうよ。」

「もうイッちゃうそうなんですか？」

「でも、ダメですか？　まだまだ気持ちよくしてあげますから、ちゃんと我慢してくださいね」

「ん……」

「じゅる……んん」

まゆ

「 るーれふか？（ビーですか） ’おーーはん（お兄さん）」

「 ひねひよはせーえふ（氣持ちよれーです）」

「 おひほ、ひくせえはふく（もひと、してあげますね）」

「 えじゅる……。じゅるる、じゅぶぶ。んん」

「 じゅる、じゅぶ……んい。ぱまつ」

「 ……こですよ。私のお口にね兄さんの濃いのたつぱつ出し
てください」

「 んい……じゅるる。じゅるる」

「 んん。こく……じゅぶぶ」

「 んんん。こくこく……」

「 ……こく。んん」

「 ……ぺり。ほら、ちゃんと全部飲みましたよ。えーっ」

「 濃厚でお兄さんの雄の匂いたつぱつの精子、美味しかったで
す」

「 ……でも、あんなに出したのい、お兄さんの、まだこんなに
元気ですね」

「 私の「」に挿入したくてたまらないって感じですか？」

「 ……どうしようかなあ？」

「 入れたいですか？ お兄さん」

立ち位置 正面 近く

「…………ふふ。冗談ですよ」

まゆ 「私も、お兄さんに入れてほしいです」

SE ベッドに倒れこむ音

※正常位

まゆ 「ほら……私のここ、好きに使ってください」

SE 挿入音

まゆ 「奥まで、届いて、き、気持ち、いいです」

SE 抽送音 (こいから)

まゆ 「お、お兄さん……き、キスしてください」

まゆ 「んつ……ちゅる。じゅるる」

まゆ 「れろじゅるるる……んんつ。ぶはつ」

まゆ 「はあ、はあ。お、お兄さんとのキス、好きです……」

まゆ 「お兄さん、もっと、もっとお

まゆ 「んんう、れる……んじゅるる」

まゆ 「じゅるる。んむ……ちゅぷ、つあつ」

まゆ 「んあつ。お、お兄さんが私の子宮の入り口、ノックしてやります」

まゆ 「き、気持ち、いいです……ああ」

まゆ 「お、お兄さん、あああ。わ、わたし……も、もひつ」

「あー、ああー……、だ、出しゃ。お、お兄さんの、あ、あ
つこの。い、い、い、ぱー……」

「んっ、ああい。こ、こく……くく」

SE 抽送音 (J-Jまで)
射精音 (中だし)

まゆ
ー
んああああああああああああああー！？

あ
ん
は
あ

「も、もう、お兄さん、出しすぎです。お腹の中、すごく熱い

「……お兄さん、まだ満足できてないんですか？」

「ほんとに、もう、仕方ないですね……」

雪くように

——まだ、時間はたっぷりありますから、
できるまで」

まゆ
「…………私の身体を使って、お兄さんの…………搾り取つてあげま
す」

「お兄さんの」と、私じゃないと満足できない身体に、してあげますから……ね?」

四九

SE 扉をノックする音

※扉越しの声

立ち位置 正面 少し遠め

卷之三

SE 扉を開ける音（主人公の部屋）

「お兄さん、どうしたんですか？」

「ああ、「れですか?」明日の夕方には家に帰らないといけないので、今のうちに荷物を整理しておこうかと」

立ち位置 右

「手伝いは大丈夫ですよ。えっとその……下着とか着替えもあるので、ちょっと恥ずかしいですし」

「……お兄さん。駄目ですよ? 今はお姉ちゃんが居間にいるんですけどから」

立ち位置 右 近い

※我慢するよう

「んひ……駄目ですって……お、お兄さん……んんっ」

「……あつ。だ、駄目。ち、乳首をつねるの反則です。

そ、そこ、弱いんですから」

「……もひつ。仕方のないお兄さんですね」

「ほひ、お兄さん、横になつてください」

「今日は私が上になりますから」

「お兄さんを自由にさせると、声が我慢できなくなっちゃいますからね……」

※囁くようこ

「……だから、代わりにお兄さんの「」と、いっぽいいっぽい弄つて気持ちよくしてあげますね?」

SE 衣擦れ音 (ズボンと下着を脱がす音)

立ち位置 正面 顔の下

「……んひ……お兄さん、もう」んなに大きくして

「いま、入れてあげますから、ね……んんあ」

SF 挿入音

「……ほり、お兄さんの遅しいの、全部飲み込んでいましたよ？」

「どうですか？ 私の中、気持ちいいですか？」

「ほら、動いちゃ駄目ですからね……ゅっくり、ゅーっくり、
気持ちよくしてあげます」

SF 抽送音ゅっくり (ー)(ー)から)

立ち位置 右 耳元

※次のセリフ囁き

「ふふ。お兄さんも、ー(ー)、弱いんですね？ 乳首を弄ると
ピクって反応しますよ」

立ち位置 正面 顔の下 近い

「……ん。ちゅつ。れる……」

立ち位置 右 耳元

※囁き

「……ほり、乳首も勃起しちゃいましたよ？」

「……どうしたんですか？ 耳元で囁かれるのが良いんですね
か？」

「また、お兄さんの弱点、一つ見つけちゃいました」

「じゃあ、こっちもいっぱい舐めてあげますね……」

※囁きー(ー)まで

※耳舐め

「 んちゅ……れろ。じゅるる」

「 れる……んん。ちゅぱ……」

立ち位置 正面 近く

「 ね兄さんの我慢汁で私の中ぐちょぐちょになつてしまふよ。」

「 ほり、私の愛液と混ざつて、動かすと卑猥な音が出來やつて

ます」

「 でも駄目ですかうね？ 今日は最後まで私がしてあげますか

「ひ」

「 ね兄さんはそのまま動かず、私にされるがまま、白いの
ピューピューするほど……やつくなと可愛がつてあげますから
ね？」

※我慢するよう

「 んひ……ああっ。お兄さんが気持ちいいとこに当たつて、
私も、気持ちいいです」

「 はあ、はあ。お兄さん、ほり……舌を出してくだやわ。」

「 れろおお……」

「 私の唾液、おいしいですか……。ふふ、もつと飲みたい、
ですか？」

「 わ、私も、お兄さんの飲ませて欲しいです」

「 お兄さんの舌で私のお口の中、いっぱい犯して欲しいです」

まゆ

「 んんちゅる……じゅるる。うぱる」

卷之三

まゆ

SE 抽送音 (1/1 ページ)

「はあ、はあ……ふふ。お兄さん、いま、少しイッちゃいそうでしたね？」

「でも、駄目ですからね……？」私が良いつて言つまで、頑張つて耐えてください

「…………我慢できない？ ですか。仕方ないお兄さんですね」

- 1 -

SE 抽送音 (IJKから)

「ほら、お兄さんが我慢して溜めてた精子、全部私の中に出来ますね」

まく

うふうはあ、はあ

「わ、私も……もう」

「んつ。はい……もう我慢しなくて大丈夫ですから」

「いっぱい、いっぱい、出してください」

まゆ
—
んつ。あああつ「

SE 抽送音 (I-Jまで)

SE 射精音（中だし）

※次のセリフ我慢する感じで

「ん～～～～～～～～」

「……んあ。……んん」

「はあ、はあ……」

「お腹の中、熱い……」

「お兄さんなので、子宮の中……満たされちゃつてます」

「お兄さんも満足できましたか……？」

「ふふ。よかったです」

「じゃあ、その……お姉ちゃんに気付かれる前に、後始末をしなきや、ですね」

「せ、せ、お兄さんも手伝ってください」

●7日目

立ち位置 正面 後ろ向き 少し遠い

「うふ……うん。駅に着いたらまた連絡するから」

「……分かったから。じゃあ、またあとでね」

立ち位置 正面 少し遠い

「……あ、お兄さん。聞いてたんですか？」

「は、は。お父さんとお母さんからでした」

「駅まで迎えに来てくれるのです」

立ち位置 正面

「……一週間、あいつという間でしたね」

まゆ

「……はい。」の一週間、とても楽しかったです」

まゆ

「……でも、大好きなお兄さんと離れるのは少し辛いです」

立ち位置 正面 近い

まゆ 「ねえ、お兄さん。まだ、時間はありますか?……その」

まゆ 「最後に、もう一つだけ、お兄さんとの思い出を作つても、いいですか?」

SE ベッドがきしむ音

立ち位置 正面 左耳に顔だけ近づける

※主人公に抱き着いて頭が主人公の肩にあるイメージ

まゆ 「ふんっ……もう私の中、お兄さんの形、覚えちゃいました」

※囁き

まゆ 「ほら、分かりますか? お兄さんが欲しくて、もう私の
中、きゅんきゅんしちやつてるの」

まゆ 「ほら……お兄さんも遠慮しないで、好きなだけ私の奥を突いてください」

※囁きここまで

SE 抽送音 (い)から

まゆ 「ふああつ。は、はげしつ……んうあああつ
あつ」

まゆ 「ふああつ。は、はげしつ……んうあああつ
あつ」

立ち位置 正面 近く

まゆ 「お、おじいさつ、きつ、キス、キスつ」

まゆ 「ふんむ……ちゅるう。ふんじゅるう」

まゆ 「ふんじゅ……ちゅるる。れる……ふあはつ」

「す、すが、です……お兄さん、お兄さん」

「もひと……もひと、してくだせー」

「んあをねる……じゅあをねる、んそ」

「じゅねる……じゅあをねる、んばせー」

「ねーい、せん。おにいちゃん……」

立ち位置 正面 顔の下 近く

「…………こいつをひらめかせ……。ふまひ」

「……はあ、はあ。んん。…………ふふ。キスマーケ、んつ。つ、つけちゃいました……」

「……これ、お姉ちゃんに、見られちやつたら、んああ。た、大変ですね……」

「で、でも、今だけは……あんつ。お、お姉ちゃんの」と、忘れて、私だけのものに、なつてくだせー」

「んああ。ま、また、お兄さんの、中で大きく、なりましたよー」

「う、うれし……んああ。も、もひと、もひと激しく、して、ください」

「い、いいんです、よつ。……おにいちゃんの、ひとつ、んん。忘れ、られなくなる、くらうに」

「私の中に、お兄さんのものだつて、ああ。し、母をくだせー」

「だ、出でへり。お兄さんの、ね、こわい……」

SE 抽送音 (ニリニまで)

SE 射精音 (中だし)

「 んんっ、ああっ。ああああああつーー?」

「 はあ、はあ……あん。んん……んっ」

「 出てます……お兄さんの精液……ん

「 好き……お兄さん」

「 んっ……ま、まだ抜いちや駄目です……」

立ち位置 正面 左耳に顔だけ近づける

※次のセリフ囁き

「 ね、お兄さん……まだ、できますよね?」

「 ほら、お兄さんの……私の中で、出し足りないって、ぴくぴくします」

「 だから……ね? お兄さんの全部、出し切るまで……」

※次のセリフ囁き

「 最後の最後の一滴まで……私に注いでください」

「 ……は、はいっ。お兄さんの好きなように、私の」と、めちゃくちゃにしてください」

SE 抽送音ぐちゅ音強め (ニリニから)

「 んあっ……あああ。んん……はあ、はっ」

「 んっ。ふああっ……ま、まるで、ケモノみたいに、んああっ。……わ、私たち、えっちしちやつて、ます

「 き、聞こえます、か? ほ、ほら、ぐちゅぐちゅつて……ん

まゆ

「お兄さんの精液と、私の愛液が混ざつて、『』、『』んなに、卑猥な音、立てますよ?」

「はあ、はあ……んんあああ。ふああつ……」

「わ、分かりますか……? わ、私、さつきから気持ちよすぎて、何度もイッちゃつてます……」

「お兄さんの、気持ちよすぎで……んんつ。お、おかしくなつちやこちやうです!」

「お、お兄さんもですか? ふふ、よ、よかつた、です!」

「『』、『』のまま……ああつ。ふ、二人で、おかしくなりましちょう!..」

「んああ……ああつ……んんん!」

「はうあつ……ふああん、んつべ」

「んんつ。ああ……め、またつ、せ、せひや……んんつ」

「んあああ、あ、あ、ひさ、ひさ……ああ」

「お、お、い、いおん……お、お、れ、れ」

「あひつ、だしてつ……」

SE 抽送音 (『』まで)

「ふああああ、あああああんつ……」

「はつ……んんあつ……んんつ。あああ……」

「はあ、はあ……んんつ……流れできちつ」

まゆ 「お腹の中、入り切らない、です……」

まゆ 「……でも、あつたかい。お兄さん、ありがとうございます」

まゆ 「大好きです……ちゅつ」

立ち位置 正面

SE 荷物（鞄）を持つ音

まゆ 「よいしょっと。……じゃあ、私はそろそろ帰りますね。あまりに遅いとお父さんに心配されてしまうので」

まゆ 「……見送りは大丈夫です。されると離れるのが辛くなっちゃいますから」

まゆ 「じゃあ、その……お姉ちゃんのこと、よろしくお願ひしますね」

まゆ 「…………お兄さん。…………えっと、また長期休みに入つたら遊びに来てもいいですか？」

まゆ 「…………よかったです。…………じゃあ、その時まで、少しのお別れです」

まゆ 「忘れないでくださいね。私も、大好きなお兄さんのこと、忘れませんから」

立ち位置 正面 後ろ向き

まゆ 「…………では、またです。お兄さん」

まゆ 「…………」

SE かけよる音（フローリング廊下）

立ち位置 正面 近く

まゆ 「…………お兄さん。…………ひつ。ちゅつ」

立ち位置 正面 どちらかの耳に顔をよせて

※次のセリフ囁き

「ん……その時になつたら、またしましょうね？」

約束ですか

「らね。お兄さんっ」

まゆ